

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課・宮崎県衛生環境研究所

## □ 宮崎県第37週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,018人(定点あたり30.0)で、前週比121%と増加した。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病で、減少した主な疾患は水痘であった。

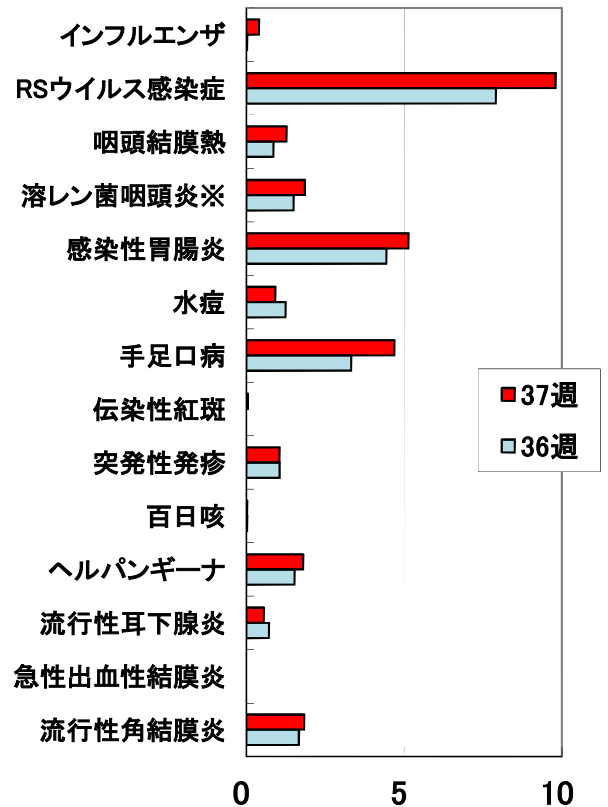
#### 【RSウイルス感染症】

・報告数は353人(9.8)で前週比124%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.3)の約7倍である。宮崎市(18.5)、日向(12.3)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳以下が全体の約9割を占めた。

#### 【手足口病】

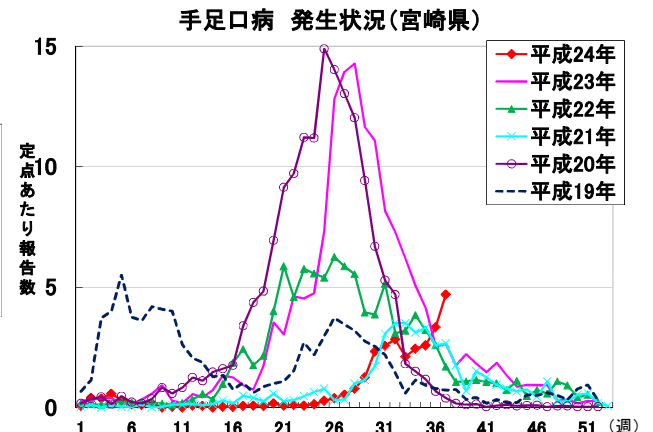
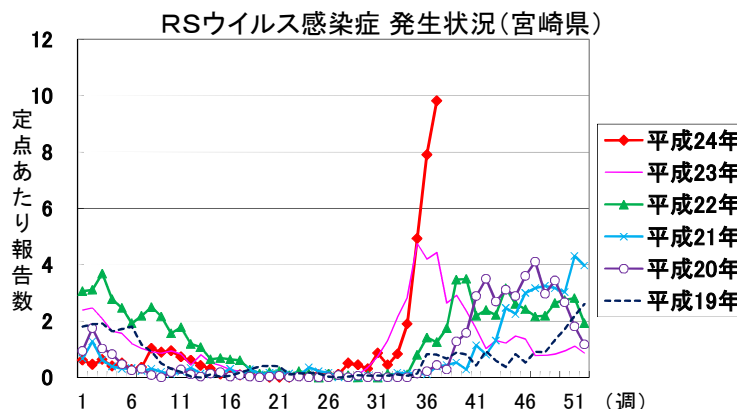
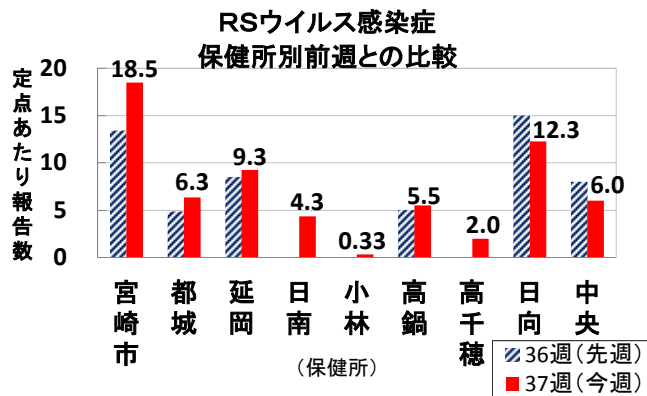
・報告数は169人(4.7)で前週比141%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.5)の約3倍である。日南(12.0)、小林(7.7)、都城(7.2)保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から3歳が全体の約9割を占めた。

## 《前週との比較》



定点あたり報告数

※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市・延岡・日南・高鍋（各1人）保健所から報告された。  
患者は1歳、3歳、8歳、10歳代。

□ 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(7.2)
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.5) ヘルパンギーナ(6.3)
日南	咽頭結膜熱(7.0)、手足口病(12.0)
小林	手足口病(7.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\* 流行警報レベル開始基準値 \*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核6例。
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症3例。
- 4 類感染症：A型肝炎1例、レプトスピラ症1例。
- 5 類感染症：麻しん3例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状	
2類	結核	宮崎市	9ヶ月	疑似症	左上腕皮下腫瘤	
			30歳代	肺結核	なし	
			70歳代	疑似症	胸水貯留	
			80歳代	肺結核	咳、痰	
			90歳代	肺結核	痰、発熱	
		中央	50歳代	無症状病原体保有者	—	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	40歳代	無症状	—	原因菌：O111、VT1産生
		都城	10歳代	患者	腹痛、水様性下痢、血便	原因菌：O157、VT産生
		日向	10歳代	患者	腹痛	原因菌：O157、VT2産生
4類	A型肝炎	延岡	60歳代	—	全身倦怠感	
	レプトスピラ症	宮崎市	60歳代	—	発熱、筋肉痛	
5類	麻しん	宮崎市	小学生	麻しん(検査診断例)	発熱、咳、鼻汁、結膜充血、コプリック斑、発しん、腸炎	ワクチン接種歴：なし
			30歳代	麻しん(検査診断例)	発熱、コプリック斑、発しん	ワクチン接種歴：なし
		日向	20歳代	修飾麻しん(検査診断例)	発熱、発しん	ワクチン接種歴：1回あり(1歳)

## ■ 病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 24 年 9 月 18 日までに検出）

### □ ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
ライノウイルス	40歳代	男	2012.9.4	気管支炎、37.4℃、 下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2012.9.7
ライノウイルス	10歳代	男	2012.9.4	肺炎、38.9℃、下気道炎(肺炎)	咽頭ぬぐい液	2012.9.7
麻疹ウイルス	30歳代	男	2012.9.7	麻疹疑い、38.5℃	咽頭ぬぐい液、 尿、血液	2012.9.7
麻疹ウイルス	20歳代	男	2012.9.7	麻疹疑い、39.3℃、肝機能障害	血液	2012.9.7
麻疹ウイルス	30歳代	女	2012.9.13	麻疹疑い、39.0℃、筋肉痛、 発しん(紅斑)	咽頭ぬぐい液、 尿、血液	2012.9.13
麻疹ウイルス	20歳代	男	2012.9.13	麻疹疑い、39.0℃、発しん(丘疹)、 胃腸炎(軟便)	血液	2012.9.13
麻疹ウイルス			2012.9.13	麻疹疑い、発しん、リンパ節腫脹、結膜 炎、38.0℃、コプリック斑、上気道炎(咽頭 炎、咽頭痛)、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液、 尿、血液	2012.9.14
インフルエンザAH3型	20歳代	女	2012.9.13	インフルエンザ、37.8℃	咽頭ぬぐい液	2012.9.14

### □ 細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
毒素原性大腸菌(O128:HUT STh)	60歳代	男	2012.8.17	発熱(37.4℃)、下痢、腹痛	便	2012.9.5
毒素原性大腸菌(OUT:HUT ST p)	50歳代	男	2012.8.15		便	2012.9.7
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	4	女	2012.8.8	無症状	便	2012.9.5
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	70歳代	女	2012.8.9	無症状	便	2012.9.5
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	1	男	2012.8.14	無症状	便	2012.8.14
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	4	男	2012.8.15	無症状	便	2012.8.15
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	1	女	2012.8.16	無症状	便	2012.8.16
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	2	女	2012.8.17	無症状	便	2012.8.17
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	2	女	2012.8.20	無症状	便	2012.8.20
腸管出血性大腸菌(O103:HUT VT1)	20歳代	女	2012.8.20	無症状	便	2012.8.20
腸管出血性大腸菌(O111:HUT VT1)	2	女	2012.8.25	下痢	便	2012.9.14
毒素原性大腸菌(OUT:HNM ST p)	2	女	2012.8.25	下痢	便	2012.9.14
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)	1	男	2012.8.23	下痢、血便	便	2012.9.10
腸管出血性大腸菌(O157:H7 VT1,2)	10歳代	男	2012.8.25	下痢、嘔気、嘔吐、腹痛	便	2012.9.5
腸管出血性大腸菌(O111:HUT VT1)	2	男	2012.8.28	下痢	便	2012.9.10
腸管出血性大腸菌(O111:H21 VT1)	1	女	2012.8.29	発熱(38.4℃)、下痢	便	2012.9.10
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	2	男	2012.8.27		便	2012.9.5
腸管出血性大腸菌(O111:HUT VT1)	7	女	2012.9.3	下痢、嘔気、嘔吐、血便、腹痛	便	2012.9.14
毒素原性大腸菌(O153:H42 STh)		男	2012.9.6	EPEC疑	便	2012.9.18

○ 腸管出血性大腸菌(EHEC)による集団感染事例が発生した。国立感染症情報センターによると、O103は、昨年度、国内で5番目に多く検出された血清型であり、本県でもO26、O157に次いで多く検出された血清型の一つである。

○ 毒素原性大腸菌(ETEC)が4名から4株検出された。ETECは主に海外からの帰国者下痢症や食中毒における集団発生の原因菌として検出されるが、今回のような散発事例も確認されている。

## ■ 全国第 36 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 10.7 で、前週比 103%と横ばいであった。今週増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はインフルエンザとヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は 2,785 人 (0.89) で、前週比 139%と増加した。宮崎県 (7.9)、福岡県 (4.0)、山口県 (2.2) からの報告が多く、年齢別では2歳以下が全体の約9割を占めた。

### □ 全数把握対象疾患 (全国第 36 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	404 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	124 例	腸チフス	3 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	1 例	デング熱	12 例
	日本紅斑熱	6 例	マラリア	3 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	11 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	15 例	急性脳炎	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例	後天性免疫不全症候群	9 例	梅毒	12 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	風しん	72 例
	麻しん	12 例				

\*風しん：東京都 (21 例)、大阪府 (16 例) からの報告が多い。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第37週(09月10日～09月16日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	24	23			1					
	定点あたり	0.03	0.41	1.44	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	285	353	185	38	37	13	1	22	2	49	6
	定点あたり	7.92	9.81	18.50	6.33	9.25	4.33	0.33	5.50	2.00	12.25	6.00
咽頭結膜熱	報告数	31	46	3	3	6	21	4			9	
	定点あたり	0.86	1.28	0.30	0.50	1.50	7.00	1.33	0.00	0.00	2.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	54	67	5	6	42	5		3	2	2	2
	定点あたり	1.50	1.86	0.50	1.00	10.50	1.67	0.00	0.75	2.00	0.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	160	185	35	34	12	23	47	10	3	18	3
	定点あたり	4.44	5.14	3.50	5.67	3.00	7.67	15.67	2.50	3.00	4.50	3.00
水痘	報告数	45	33	8	3	4	1	10	4		1	2
	定点あたり	1.25	0.92	0.80	0.50	1.00	0.33	3.33	1.00	0.00	0.25	2.00
手足口病	報告数	120	169	40	43	16	36	23	3		8	
	定点あたり	3.33	4.69	4.00	7.17	4.00	12.00	7.67	0.75	0.00	2.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		2	1					1			
	定点あたり	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	38	38	11	4	6	4	4	4		5	
	定点あたり	1.06	1.06	1.10	0.67	1.50	1.33	1.33	1.00	0.00	1.25	0.00
百日咳	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	55	65	13	9	25	8	1	1	1	6	1
	定点あたり	1.53	1.81	1.30	1.50	6.25	2.67	0.33	0.25	1.00	1.50	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	26	20	2	17						1	
	定点あたり	0.72	0.56	0.20	2.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	10	11	10		1						
	定点あたり	1.67	1.83	3.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	4	1		1	1		1			
	定点あたり	0.43	0.57	1.00	0.00	1.00	1.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～37週)

2類感染症	結核	175例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	60例(3)				
4類感染症	A型肝炎	3例(1)	つつが虫病	13例	デング熱	1例
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	4例	レプトスピラ症	1例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	7例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	2例	梅毒	2例
	破傷風	3例	麻しん	6例(3)		

( )内は今週届出分、再掲